

科目名 終末期看護援助論 時間割表記名 終末期看護援助論	配当時期 2年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 中村律子 川野友美 看護師	
事前学習内容 事例で用いる疾患の病態・治療については復習して臨む。			
授業目標 1. 終末期にある対象および家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 終末期にある対象の病態や治療とその看護について理解できる。 3. 事例を通して、終末期にある対象および家族の看護過程の展開を学ぶ。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 終末期における看護 1) 終末期の特徴 2) 患者・家族の全人的苦痛(トータルペイン)の理解 3) 緩和ケアの理解 4) アドバンスケアプランニング(ACP) 2. 終末期の患者のニーズ(身体的・精神的・社会的・霊的ニーズ) 1) キューブラ・ロス 死の受容過程	講義	テキスト①
2	3. がん患者の対象とその特徴 1) ライフステージによるがん患者の特徴 2) がんサバイバーシップケア (1) AYA 世代のがん患者ケア	講義	テキスト①
3	4. 全人的ケアの実践 1) 身体的苦痛のマネジメント (痛み・呼吸困難・消化器症状・がん悪液質・全身倦怠感)		
4	5. がん患者の薬物療法と看護	講義	テキスト②
5	6. がん患者の放射線療法と看護	講義	テキスト②
6	7. 日常生活を支える援助(食事・排泄・睡眠・清潔) 8. 高齢者の終末期ケア 1) 高齢者の終末期における身体的変化とアセスメント 2) 高齢者に対する緩和ケアの必要性 3) 「生ききる」ことを支えるケア 4) 高齢者の尊厳を守るための支援	講義	テキスト①③

7	【事例展開】肝硬変患者の看護(成人期) 1. 情報の収集と整理 2. 事例のアセスメント(全人的苦痛・QOL・取り巻く人々の状況) 3. 看護問題の明確化 4. 援助計画の立案	講義 演習	テキスト①②④ *13回目 45分
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	臨死期のケア、家族ケア、グリーフケア	講義 演習	テキスト③
15	エンゼルケア(演習)		
16	試験(45分間)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験 レポート
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院</p> <p>③系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院</p> <p>④系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院</p> <p>参考文献</p>			